

一ノ木戸小学校 学校だより 令和3年10月13日第11号



# ひびき

一ノ木戸ポプラ学園

めざす子ども像

◆ゆたかなかわりを求めて  
夢や希望をもち  
未来をひらく子ども

一人一人がみんな違う私たち  
～全校朝会(9/28)講話より～

校長 渡邊 芳久

(略) 10月には、5年生の三条市小学校音楽祭、同じく5年生自然教室、6年生修学旅行、そして、運動会、図工作品展と大きな行事がたくさんあります。それぞれの行事では、みんなで力を合わせ、かがやき合う行事を創り上げてほしいと願っています。さて、今日は、その中でも全校のみなさんで創り上げていく運動会についてお話をしようと思います。

みなさんは、運動会は楽しみですか？楽しみな人は手を挙げてください。楽しみではない人は手を挙げてください。どちらでもないという人もいますが、みんながみんな、楽しみにしているわけではないですよ。

では、運動会は楽しみではない人たちとどちらでもないという人たちに質問をします。質問「運動会が楽しみな人の理由は何だと思いますか？いくつでもいいので心の中で考え、心の中で答えてください」

はい、どうもありがとうございます。運動が好きだから。走るのには自信があるから。応援で優勝をねらってがんばっているから。応援歌を歌うのが楽しいから。中には、教室で勉強しないで済むから。などと想像した人もいるかもしれませんね。では、楽しみだという人たちとどちらでもないという人たちに質問です。「運動会は楽しみではないという人の理由を心の中で考え、答えてみてください」

はい、どうもありがとうございます。走るのが遅いから。運動は苦手だから。応援歌を歌うのが苦手だから。徒競走で負けるのが恥ずかしいから。などたくさんの理由が想像できたのではないかと思います。

私が、今、みなさんに考えてもらったのは、「他人の気持ちを考える」「相手の立場に立って考える」ということです。

私たち人間は、大人も子どもも、一人一人みんな違います。できることもできないことも考えていることも、感じ方も、みんなが違うのです。

一人一人はみんな違うけど、運動会が好きでも嫌いでも、楽しみでも楽しみでなくとも、得意でも苦手でも、みんなが赤組、白組のために一生懸命に頑張る、勝っても負けても最後まで全力で頑張る。そして、勝っても負けても一生懸命に頑張った仲間や相手チームとたたえ合う、「頑張ったね」って言い合える、それが運動会のいいところだと思います。

10月の生活目標は「友だちのよさに学ぼう」です。

一人一人がみんな違う私たちです。けれども、私たち一人一人には必ずよさがあります。そのよさを見つけ合い、認め合い、すごいねってたたえ合い、かがやき合う10月になっていくことを願っています。そして、かがやけないでいる人を見かけたら・・・かがやけないでいる仲間気づいたら・・・「どうしたの?」「よかったら、話を聞かせてくれる?」「私もいっしょに考えさせてくれる?」などと言える、行動のできる思いやりのあるみなさんであることを信じて、全校朝会のお話を終わります。